

## ● 防犯防災部会主催 防災訓練開催



各自治会 第5・6ブロック集合

2024年9月14日(土)にあきしま・街づくり市民会議・なかがみ防犯防災部会が主催した防災訓練が、中神小学校の校庭と体育館をお借りして開催されました。共催として自治連第5.6ブロックの各自治会の会長をはじめ、総勢73名以上の住民の方々に参加して頂きました。また、昭島市消防署、昭島市消防団第一分団、昭島市、中神小学校の皆様にも会場・備品の貸し出しや訓練に際してのご指導ご協力を頂きました。

まず初めに北村実会長より、あいさつ並びに防災訓練の趣旨についてお話がありました。その後各自治会を4班に分け、初期消火訓練(消火器・ホース)・煙体験・AEDそれぞれの訓練へ移動しました。初期消火訓練(消火器・ホース)は小学校の校庭を利用して実施されました。

消火器を使った訓練では3名1組で実施され、水消火器による初期消火訓練を行いました。初期消火を行うときの流れは、「火事を知らせる」「消火活動を行う」「現場から離れる」といった順番でいかに早く火事を知らせるかという点を学ぶことができました。

続いてスタンドパイプを使った消火訓練では2人1組でスピンドルドライバーを回す人とホースを持つ人で分かれて放水を実施しました。隊員からは、放水を始めるときはホースを持っている側から手を挙げ、「放水始め」と伝え、放水を止めるときは手を横にして「放水止め」と言うなど、手信号を学ぶことができました。参加をしていた児童・生徒たちは「水の勢いがすごかったけど楽しかった」と話していました。



初期消火訓練



AEDの取り扱い訓練



煙体験

開栓器などは年に数回しか使用しない為、定期的な点検が必要だとお話を頂きました。体育館の中では煙・AED体験が実施されました。煙体験は、人体に無害な煙を使用して火災が起きた際に煙が充満していく様子を再現し、火災時における煙の怖さと避難方法などを体験することができました。体験の際は白い煙でしたが、実際の火災現場では黒煙が広がるということで、できるだけ下へ下へと屈んで避難をするのが良いとアドバイスがありました。

AEDでは実際に緊急事態となった時を想定した実践形式で行われました。訓練の中では周囲の人との連携が必要な事が多くあり、改めて地域のつながりが大切だということを認識すると共に目の前で人が生死を彷徨う場面に出くわした際、焦らずに落ち着いて対応するには定期的な訓練が必要だと感じました。最後に昭島市消防署より高評価を頂くことができました。「今年もとても暑い中での訓練でしたが、体調不良の方も出ず、無事に防災訓練を終える事が出来ました。引き続き、有事の際は助け合える関係性を構築していくべく、活動を続けていきます。」と防犯防災部会部長・岩堀吉一さんから感想・抱負がありました。(取材写真・広報部会 / 日恵野 貴之)